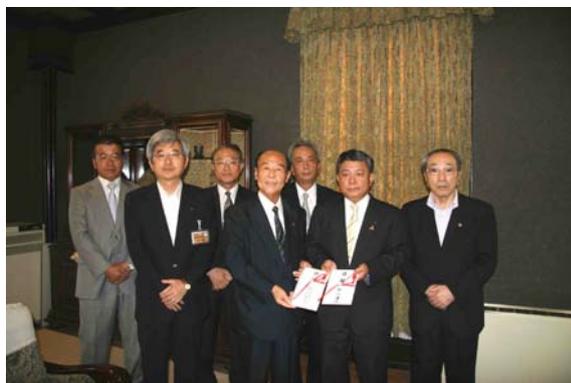


新日本プロレス大会「がん撲滅チャリティ」・ 「横浜社会福祉チャリティ」入場券の贈呈について

神奈川県遊技場協同組合(理事長：関根貞雄)と神奈川県福祉事業協会(会長：関根貞雄)は、本年 8 月 10 日、横浜文化体育館において開催される新日本プロレス大会「がん撲滅チャリティ」・「横浜社会福祉チャリティ」に向け、この度神奈川県知事と横浜市長に対し、大会入場券を寄贈いたしました。この寄贈に伴って、県知事と横浜市長からそれぞれ、神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会に感謝状が贈られました。当協会では、この支援活動を平成 16 年から継続して実施しているものです。

1. 月 日	平成 22 年 7 月 5 日 (月)
2. 場 所	神奈川県庁本庁舎 3 階 第三応接室、横浜市庁舎 2 階応接室
3. 寄 贈 者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
4. 寄 贈 先	○神奈川県知事 (保健福祉局地域保健福祉部) ○横浜市長 (横浜市社会福祉協議会、障害福祉部)
5. 贈呈物品	プロレス観戦入場券 400 枚 (80 万円相当)
6. 概 要	神奈川県内では予てより、ガン撲滅運動を展開しており、また、横浜市においては心身に障害を持つ方々への様々な福祉活動を行っております。がんと闘っている患者やその家族あるいは、身体の障害によって平素自由に活動できない方々のために、こうしたチャリティが行われることに協賛して寄贈したものです。神奈川県への贈呈式において、関根会長は「患者さんを励まし、あるいはその家族の労苦に少しでもお役にたてるならば何よりのことです。」とあいさつし、横浜市への寄贈式では「日ごろ外出等もままならない、身体に障害をもった方々が、身近でプロレスの競技を観戦し、楽しいひと時を過ごして頂くとともに、明日への活力につながるものであれば何よりのことと思います。」とあいさつしました。これに対し、古尾谷副知事からは、「がん撲滅運動を展開していくことは大変なことであるが、少しずつ運動の輪が広がっている。毎年このようにご支援を頂いていることは誠にありがたいことです。」と感謝の言葉を述べられました。この贈呈式の模様は、神奈川新聞でも紹介されました。



※写真左：関根理事長(前列左から 2 人目)より神奈川県 古尾谷副知事(同 3 人目)に目録を寄贈しました

※写真右：横浜市 大場副市長(左)より感謝状を頂きました